

平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	漁村が誇る「3つの“あ”」のまちづくり ～青木繁《海の幸》、安房節、アジのひらき～
対象地域	千葉県館山市富崎地区（布良・相浜）
対象地域の概要	    <p style="text-align: center;">●館山市富崎地区</p> <p style="text-align: center;">●青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑</p>
提案内容の概要	<p>少子高齢地区の富崎小学校が実践しているふるさと学習のテーマは「3つの“あ”」＝①青木繁《海の幸》②安房節（舟唄）③アジのひらき」であり、これに象徴される伝統的な漁村集落の生活文化や知恵を見つめ直すとともに、歴史・文化遺産を活用して地域活力を高め、子どもから高齢者まで参画するコミュニティ創生を図る。</p>
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	<p>明治期にマグロ延縄船発祥の漁村として栄えていた館山市富崎地区は、基幹産業であった水産業の衰退に伴い、若者は市街地や都会へ流出し人口も激減。平成19年3月現在、世帯数527戸、人口1,140名、うち65歳以上は524名である。館山市は全国に先駆けたコミュニティ運動の先進地であるものの、市内でもとくに少子高齢・過疎化率の高い同地区ではコミュニティ活動も停滞し、独居老人や老々介護、認々介護など深刻な課題が山積している。富崎幼稚園はすでに廃園となり、児童数15名の富崎小学校も統廃合が懸念され、さらに地域活力の低下を招く状況が待ち受けている。このような現況下においては、伝統的な漁村集落ならではの生活文化や知恵の伝承も困難であるばかりでなく、日本を代表する絵画《海の幸》が誕生した地であることへの関心や誇りも薄く、青木繁ゆかりの文化遺産が後世に保存できない危機に瀕しているといえる。</p>
(2) 活動内容の案	<p>活動①：青木繁《海の幸》の“あ”プロジェクト</p> <p>文化遺産保存とコミュニティファンドづくりの条件整備</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小谷家住宅や記念碑保存のための調査研究 <ul style="list-style-type: none"> ・文化財アドバイザー会議の開催 ・富崎地区にまつわる美術史研究や漁村集落景観の美術的検証など 2. 周辺環境の保全整備（草刈り等） 3. 文化遺産コミュニティファンドづくりの条件整備 <ul style="list-style-type: none"> ・連携協働体制の強化（イベント開催、パンフレット作成、広報PR活動など） <p>活動②：「安房節」の“あ”プロジェクト</p>

	<p>漁村集体の生活文化の調査研究と記録・伝承</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 舟唄「安房節」の記録保存と調査研究 <ul style="list-style-type: none"> ・安房水産業史からみた富崎村文書の調査と検証 ・関東大震災と元禄地震の津波被害の検証 2. ITのデータベース構築 3. 広報活動 <ul style="list-style-type: none"> ・資料パネルの作成と公民館等での展示 ・ウォーキングコースの設定とイラストガイドマップの作成
	<p>活動③：アジのひらきの「あ」プロジェクト</p>
	<p>コミュニティビジネス実現に向けた調査と人材育成</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 食文化「おらがごっつお(わが家のご馳走)」の調査研究 <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査 ・調理実習 ・レシピ集の編集 2. コミュニティビジネスの実証 <ul style="list-style-type: none"> ・イラストガイドマップの商品化と販売 3. ガイド養成講座とまちづくり講座による人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ツアーガイドの実践
<p>応募団体名</p>	<p>特定非営利活動法人 安房文化遺産フォーラム</p>
<p>リンク</p>	<p>http://bunka-isan.awa.jp/</p>
<p>部局／担当者名</p>	<p>事務局長 池田 恵美子</p>
<p>連絡先</p>	<p>0470-22-8271</p>
<p>推薦市町村名</p>	<p>館山市</p>